

(平成20年10月1日)

○平和が丘学区連絡協議会

○平和が丘学区地震対策委員会

大地震！ あなたのご一家は、どこへ、どうやって避難されますか？

まず、近くの「避難場所」へ！ そこでみんなの「安否確認」！ そのうえで「避難所」へ！

「避難所」は市（区）が決めています。避難所には長期間、過ごすことがあります。
「避難場所」は自治会（まれに組）が決めています。避難場所は、避難所に向かうために集まるところです。

この表を参考に、ご家族やご近所で確認しあっておきましょう
※コミセンは「避難所」に指定されていますが、その使い方・運用について検討中なのでこの表からはずしておきます。

自治会	「避難場所」	「避難所」
平和が丘一丁目	梅廻間公園	平和が丘小学校
公務員住宅	各棟の階段前	〃
光ヶ丘	決めてない	〃
平和が丘二丁目	南グループは正敬寺駐車場 北グループは108番地の坂さん宅北駐車場	東邦高校 平和が丘小学校
平和が丘三丁目	検討中	東邦高校
平和が丘住宅	各棟の前	〃
日車マンション	決めてない	〃
平和が丘四丁目南	平和が丘第二公園	〃
平和が丘四丁目北	検討中	〃
平和が丘五丁目	八畝公園・あと一か所検討中	平和が丘小学校
八前三丁目	検討中	蓬來小学校 平和が丘小学校

普段からの準備が大切！

名古屋市の「避難所マップ」を何回も読み返してください

☆ 避難する時は… ☆

- # 携帯ラジオが便利
- b 帽子・ヘルメット
歩きやすい運動靴
長そで、ズボン、作業手袋も
- # 非常持ち出し品を持って！
持ち運びしやすくリュックで
食糧、水は三日分
- b ガスは元栓を閉め、電気ブレーカーを切って
- # 避難は歩いて。車は緊急車両の通行の妨げになります
- b 避難する時は、近所の高齢者や障がい者、からだの不自由な方などに声をかけ、近所の人などで力を合わせて避難場所へ！
- # 避難する途中の危険に注意してください。垂れ下った電線、ブロック塀、倒れた街路樹など

蒲郡市で

「防災行政無線」を
全世帯に

気象庁による「緊急地震速報」や市の防災行政無線を、自宅などどこでも聞けるようにと、蒲郡市では「防災行政無線」の普及を進めている。

このラジオは、NHKなど普通のラジオ放送を聴いていても、防災放送が入ると自動的にその放送に切り替わる。ラジオは幅二〇、奥行き一〇、高さ九cm。電源はACアダプターと乾電池の2電源。停電時や携帯時には内蔵電池が働く。また、単三乾電池3本で重さは四八〇g。持ち運びできる。AM・FM放送を受信でき、非常灯が付いている。

市内一〇七か所の防災行政無線の音声聞き取りにくいという市民の声に、ラジオメーカーと市とで開発。昨年六月、市の広報で購入希望者の募集を始めた。

一台七千円だが、大部分を市が助成し、購入者の負担は千円。この九月中旬では、二万八千余りの全世帯のうち一四%あまり、約四〇〇〇世帯が購入している。

市では「三河地震のせいでしょうか、市民の防災意識は高いと思います」と話している。

防災訓練に積極的に

参加しましょう！

「防災の備え」 「非常持ち出し品」 わが家の場合

いろいろな家庭の場合を参考に、しっかり準備しましょう！！

《 T U さんの場合 お住まいは集合住宅の2階 》

◆ 60歳代前半のご夫妻 ◆

【阪神・淡路大地震を経験した友人の体験談から実施している備え】

- (1)「セーフティゾーン」を設けた。10畳の居間。低い高さの家具数個は耐震留め具で固定。部屋中央のテーブルは4本の脚のほか、中心に円筒形の”脚”があり、その分、上からの力に強い。このテーブルの下に逃げ込む。
 (2)この部屋以外の家具全部を耐震留め具で固定 (3)窓、額、食器棚などすべての家具のガラスにガラス飛散防止フィルムを張った (4)不要になったタオルや布は災害時の清掃用に保存。

【 非 常 持 ち 出 し 品 】

【寝室の箱】 ・懐中電灯・携帯ラジオ(各1個)・マスク・スニーカー・ゴム手袋(各2人分)

【玄関のリュックサック】 ・健康保険証のコピー・薬各種・現金(お札)少々・ライター・げんこつ・菓子パン・ガム・飲料水(20本)・携帯トイレ・トイレトペーパー

【夫の車】 ・小銭約3,000円・ライター・軍手・ロープ・レジャーシート・大小のごみ袋・ウエットティッシュ・作業用手袋・油性マジックペン・ノート・はし・スプーン

【妻の車】 ・小銭約2,000円・防寒具・靴下・古い靴2人分・携帯トイレ・トイレトペーパー・バスタオル・毛布・歯磨き・大小紙コップ・缶切り・食品包装用ラップ・クッキー缶・乾パン・魚貝缶詰10個・インスタントみそ汁10袋・ライター・作業用手袋・レジャーシート・懐炉・大小ゴミ袋

【物置】(ベランダに頑丈な箱を置いている)

・飲料水(20×18本)・茶(20×12本)・人参ジュース・野菜ジュース・スポーツドリンク粉末・各種インスタント食品・缶詰・包装米飯・ウエットティッシュ・大小ゴミ袋・カセットコンロ・トイレトペーパー・紙皿・ロープ・針金・作業手袋・ヘルメット

※以上の水、茶、缶詰、インスタントみそ汁以外は、ほとんど1~2個

※20×18本の水は還元水作成機で作り、8ヶ月おきに入れ替え ※茶は購入から2ヶ月おきに交換

※人参・野菜ジュース、スポーツドリンクの粉末、インスタント食品、缶詰、包装米飯もほぼ2ヶ月おきに交換

※以上の入れ替え、交換作業は ①台所の月ごとのカレンダーへのメモ ②入れてある段ボール箱の表へのメモ

③品物の箱へのメモ をたよりに進めている。

災害 ひとくち メモ ・・・ 携帯電話には限界があります ・・・

災害時、携帯電話は情報の遣り取りに大きな力を発揮します。しかし、災害発生と同時に、皆が一斉に通話を始めると、携帯電話といえどもつながりにくくなります。

それは、携帯電話と携帯電話の接続に、一般の電話と同じ通信回線を使っている部分があるからです。その解決策として「災害伝言ダイヤル171」が開発されました。これは、伝えたい情報をセンターの記憶装置に入れておき、あとで相手方に取り出してもらう…という方法です。

地震など災害の発生直後は、電話をかけても「話し中」ばかりです。少し、間を置いてから「171」に連絡事項を入れるようにしましょう。こうすれば、救急や治安活動など大切な通信の邪魔をすることもありません。

すね。 (木村元三郎)	”家庭の防災は女性”で れて・・・”とのこと。 がすつかり熱を入れてく た。さらに何うと「家内 充実ぶりには驚きまし	編集後記 「TUさんの場合」の	平和が丘二丁目自治会 救命救護訓練に 30数世帯・40人あまりが 参加されました	訓練は9月21日(日)午前、コミセンで平和が丘消防 団の指導のもと人工呼吸の仕方、AEDの扱い方、三角布 による止血法、毛布によるタンカの作り方など一時間
			あまり。参加者の中には小3男子・同1女子 の二人も一緒に若い家庭も。男子児童も人工 呼吸にチャレンジ。「難しい」と。両親もう 会長も参加されました。	れしそう。3歳と2歳の女兒を連れた看護師 さんも。また、ほかの自治会から会長、副